

I 長岡版総合戦略（仮称）の策定概要について

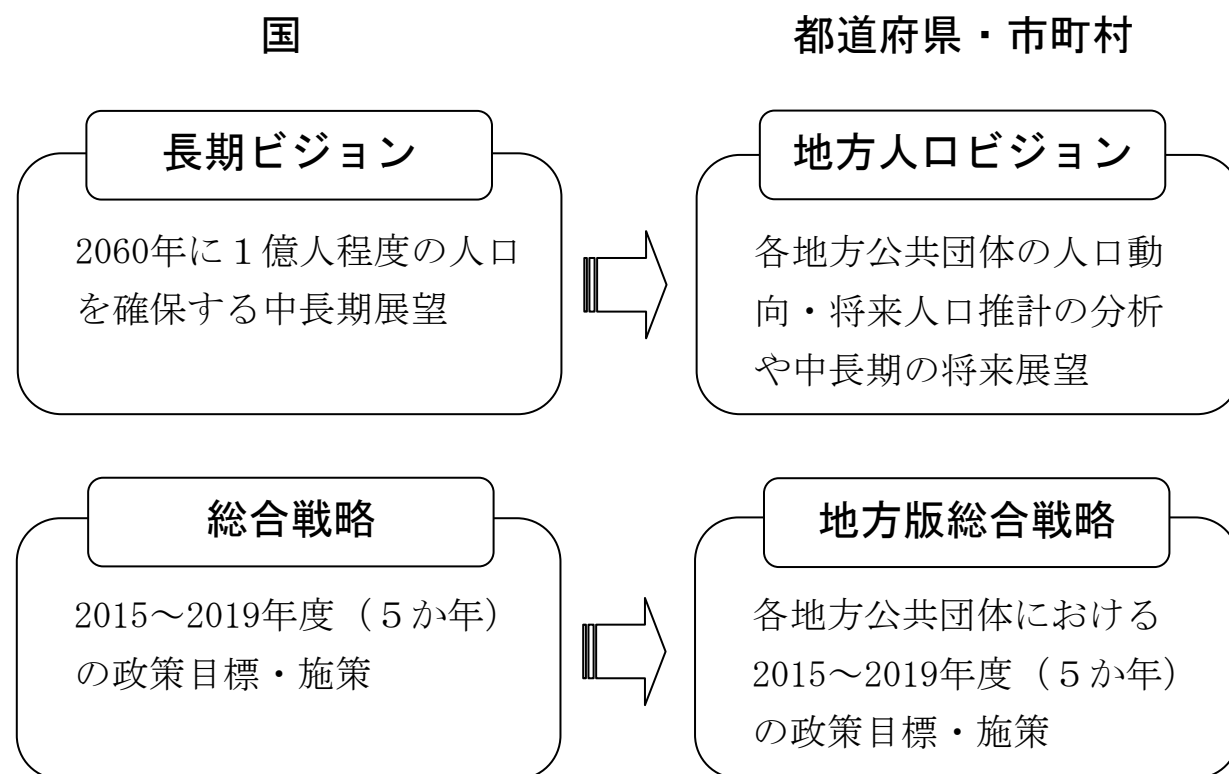
1 計画策定の背景

地方創生は、国と地方が総力を挙げて、地方が成長する力を取り戻し、急速に進む人口減少を克服する取り組みです。

地方公共団体は、国の「長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案しつつ、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「地方版総合戦略」を策定することが求められています。

(都道府県) まち・ひと・しごと創生法第9条
(市町村) まち・ひと・しごと創生法第10条

【まち・ひと・しごと創生計画の関係】



2 長岡版総合戦略の考え方（案）

（1）理念を掲げる

長岡市は、地方版総合戦略を全国一律的な計画として捉えるのではなく、“長岡の地方創生に対する根本の考え”を全市民でしっかりと共有するための理念を打ち出します。

理念

“志を未来に活かす、ながおか”

地方創生は、今の若者自らの未来に関わる問題であり、10年20年という長期間の不断の努力が必要です。これは、若者が自覚し自ら志をもって主体的に参加することでのみ達成されるものです。

長岡版総合戦略は、若者自らが汗を流す政策を全市民で応援し、次の世代を担う若者のための「ふるさと長岡」を目指します。

（2）長岡市人口ビジョンの策定

長岡版総合戦略の策定においては、これまでの長岡市総合計画と同様に人口推計等の作業を進めており、長岡市の人口ビジョンを提示します。

長岡市人口ビジョンの構成

- 人口の現状分析（現状を分析し、将来影響を考察など）
- 人口の将来展望（目指すべき将来の方向・展望など）

(3) 幅広い政策分野を網羅する長岡版総合戦略

長岡版総合戦略の策定においては、未来志向的な長岡らしい政策を掲げる一方で、未来につなげるための今ある課題に対応する政策を盛り込むことも大切です。

したがって、これまでの総合計画と同様に、高齢者の生活を豊かにする観点からの施策や、公共施設・インフラの整備、市内の11地域の地域資源の活用など、幅広い政策を網羅します。

総合戦略の主な施策

- ・ 地域産業の競争力強化、企業誘致の促進
- ・ 起業創業支援
- ・ 農林水産業の6次産業化推進
- ・ 歴史・文化・まちなみ・スポーツ等による地域活性化
- ・ U I J ターンによる移住定住推進、雇用対策
- ・ 大学等の活性化、若者の交流・地元定着
- ・ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ・ ワークライフバランスの実現
- ・ 中山間地域の生活支援
- ・ 地域医療と福祉の充実・連携
- ・ 暮らしの安全・安心の確保
- ・ 公共施設・インフラのマネジメント
- ・ 市内11地域の個性が輝くまちづくりの推進
- ・ 地域資源を活用した観光の推進、交流人口の拡大
- ・ 中越圏における経済・生活圏の形成と自治体連携

(4) 長岡版総合戦略の特徴

ア 経験豊かな世代が若者の志を引き出し応援する

若者に志をもってもらい、若者が主体的に参加し、考え、汗を流す、若者のための地方創生。この若者たちを全市民で応援します。

イ 外からの長岡を応援したいと思う志を大切にする

長岡にゆかりのある人はもちろん、多くの人から長岡のまちづくりに参加してもらいます。

ウ 志のような数値化出来ない目標を大切にする

若者にふるさとへの愛着と誇りをもってもらうための施策に取り組んでいきます。

(5) 政策5原則プラス1

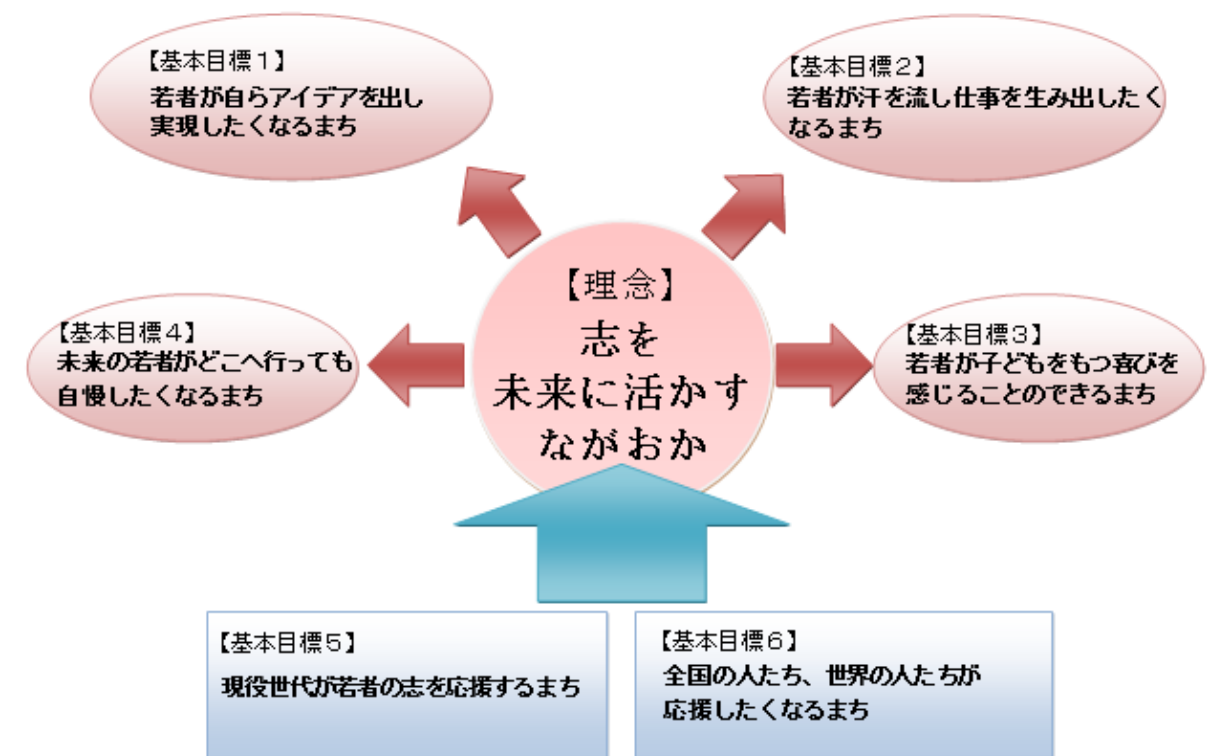
国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則」(①自立性、②将来性、③地域性、④直接性、⑤結果重視)に、長岡らしい「⑥志の応援」を加えた「政策5原則プラス1」の6原則により、施策を推進します。

長岡らしい政策原則の追加

⑥志の応援

数値目標では計れない若者のふるさとへの愛着と誇りをもってもらうための施策を実施します。

イメージ図



(6) 理念に基づく基本目標

長岡の地方創生に対する理念に基づく基本目標については、次の6つの設定を考えています。

基本目標

基本目標① 若者が自らアイデアを出し実現したくなるまち

若者（社会人・学生）の意見・提案を、「ながおか・若者・しごと機構」を通じ産官学金で支援し、実現するまちづくりを進めます。

基本目標② 若者が汗を流し仕事を生み出したくなるまち

安定した雇用創出を生み出すため、伝統産業及び農業も含めた地域産業の振興や、起業創業支援の取り組みを推進します。

基本目標③ 若者が子どもをもつ喜びを感じることでできるまち

若者の出会い・交流を推進し、長岡オリジナルの充実した子育て支援策を強化して、若者が結婚し、育児したくなるまちづくりに取り組みます。

基本目標④ 未来の若者がどこへ行っても自慢したくなるまち

子どもたちが世界のどこへ行っても「ふるさとながおか」に愛着と誇りをもつまちづくりを推進します。

基本目標⑤ 現役世代が若者の志を応援するまち

現役世代は若者の未来が明るいことを望んでいます。その実現のためにお金を出し、場を与え、アドバイスを行うなど、あらゆる努力を惜しまず若者の志を支えます。

基本目標⑥ 全国の人たち、世界の人たちが応援したくなるまち

長岡に住んだことの無い人が応援したくなるまちづくりを進めます。

(7) ひと・もの・情報の流れをつくる

地方創生は、「ひと・もの・情報の流れをつくる」ことにつきます。

その大きな取り組みとして、若者と産官学金が一体となって参画する「ながおか・若者・しごと機構」という体制を構築し、情報の集約、提供、様々なアドバイスや具体的な施策を推進します。

ながおか・若者・しごと機構

- 若者の参画
- 3大学1高専、専門学校の参画
- 地域の金融機関の参画
- 行政の参画

(8) 若者や産官学金労言の参画による計画づくり

長岡版総合戦略は、計画づくりにおいて、市議会との連携はもちろんのこと、若者や企業、産官学金労言の関係機関からの提案を盛り込むことにより、計画の実行性を高め、見直し等での連携強化（当事者意識の醸成）を図ります。

様々な人からの提案

- 大学生、高校生
- ながおか若者会議（社会人・学生）
- 大学、金融機関などの関係機関
- 市議会

また、長岡版総合戦略の推進体制として関係機関で構成する「長岡市地方創生推進会議」を設置しました。

産官学金労言の全てが参画していることや、「3大学1高専」、「6つの金融機関」など参画機関が充実していることが特徴としてあげられます。

(9) その他

8月末までに長岡版総合戦略の策定作業の完了を目指し、その後計画を決定します。

また、今回の長岡版総合戦略の取り組みを次期総合計画の策定に活かします。

II 具体的な施策例について

○ながおか・若者・しごと機構設立事業

若者の提案、活動を下支えする活動などを行う。

○若者の交流推進事業

長岡学生交流会やながおか若者会議など、若者の交流や企画提案を推進。
(学生・社会人等)

○若者交流イベント事業

若者（学生や社会人）の新たな出会い・交流の場づくり。

○高校生による起業体験

高校生によるまちなかの飲食店での商品開発・販売。
(高校生)

○ものづくりの長岡PR事業

長岡のものづくり企業が持つ高い技術力や製品を、首都圏などの企業に対し広くPRすることで、受注機会の拡大を図る。

○長岡産の競争力強化とフードバリューチェーンの構築事業

長岡産農畜水産物や日本酒等の、市内外の需要拡大・高付加価値化。

○錦鯉グローバルブランド化支援

関係機関と連携し、錦鯉の海外展開を含め、販路拡大に取り組む。
(金融機関)

○クラウドファンディングの活用

クラウドファンディングに係る補助金事業を構築し、市内企業と金融機関と連携した支援。
(金融機関)

○長岡まちなか民間活力創造研究会運営事業

中心市街地の活力再生に向け、意欲のある企業・団体を募集し、産・官・学・金による情報交換・まちづくり研究を実施。

○地域の宝磨き上げ事業など、地域の魅力の向上

山古志地域の闘牛や寺泊地域の海など地域資源の魅力を高め、各地域の「自信」と「誇り」を醸成。

○子育て環境の充実

妊娠期から就学前にかけて切れ目なく支援する長岡版ネウボラや保育料の軽減など、子育て環境の充実を図る。

○イクボスのいる職場認定、広報制度

職場の管理職等を対象としたワーク・ライフ・バランスの研修制度を設定し、若者の結婚、出産、子育てを支援。
(労働団体)

○市内中学校冷房設備の整備による学習環境の改善事業

市内中学校の普通教室に冷房設備を段階的に整備。

○多世代健康まちづくり事業

民間のノウハウを取り入れた健康づくりの取り組みや生活習慣病予防対策を行い、健康なまちづくりを目指す。

○地域で暮らし続ける「地域包括ケアシステム」事業

「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「住まい」が一体的、包括的に提供される「地域包括ケアシステム」の推進。

○冬期間の安全・快適な交通空間確保事業

老朽化した消雪施設の改築・更新を行うとともに、住民自らが行う私有消雪施設の整備に対して経費を助成。

○地域の防災リーダーや地域防災力のさらなる強化

中越市民防災安全大学を支援し、防災リーダーを育成。消防団を中核とする地域防災力の強化。